

【面河山岳博物館・夜の講座(共催:愛媛県生物多様性センター)】

# 愛媛と久万高原の 田んぼの生き物

水田はイネを育てる農地ですが、同時にカエルやトンボ、ゲンゴロウなどの生き物にとって重要な生息地にもなっています。農業をしながら多様な生き物たちの暮らしも支える、そんなことができるのが水田なのです。しかし、近年、イネの栽培期間の短縮や圃場整備(例えば水路のコンクリート化)、農閑期の乾田化などが進み、水田が生き物たちにとって棲みにくい場所になりつつあります。

今回の講座では愛媛県生物多様性センターから研究員をお招きし、水田の管理とカエルやトンボなどの暮らしとの関係について、これまでの研究成果を紹介していただきます。身近な水田にちょっと足を運びたくなるお話が盛りだくさん!お楽しみに!



トノサマガエル



シコレゲルアオガエル



ツチガエル

## 【主な内容】

- ◎お米作りだけじゃない、水田の存在意義
- ◎愛媛のトノサマガエルとヌマガエルの分布
- ◎久万高原は平地で減ったトノサマガエルの天国
- ◎イネの栽培方法の違いがカエルの生息に与える影響
- ◎ため池管理と絶滅危惧種オオキトンボの関係
- ◎おいしいお米をつかって生き物の暮らしを守る方法

◎日 時：平成30年5月30日(水)19:00~20:30

◎場 所：久万高原町産業文化会館研修室 (住所/上浮穴郡久万高原町久万188)

◎講 師：村上裕さん (愛媛県生物多様性センター主任研究員)

◎参加費：無料

◎申 込：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。

面河山岳博物館 電話：0892-58-2130 FAX：0892-58-2136

## 参加申込票 (FAX用)

以下に必要事項をご記入の上、博物館までFAXください。いただいた個人情報は適正に管理し、延期・中止など本事業に関するご連絡にのみ使用させていただきます。また、第三者に開示・提供することはありません。

参加者氏名	
住所	※市町名まででかまいません。
電話番号	